

# 高知県の森林・林業・環境の現況

- (1) 森林資源
- (2) 森林施業
- (3) 林業生産基盤
- (4) 保安林
- (5) 森林組合
- (6) 林業労働力
- (7) 木材産業
- (8) 林業粗生産額
- (9) 特用林産
- (10) 木材需給
- (11) 高知県における木材流通の現況（平成19年）
- (12) 新設住宅着工数の推移
- (13) 木材価格
- (14) 製品価格の推移（全国）
- (15) 全国に占める高知県林業の地位
- (16) 温室効果ガス排出量の推移
- (17) ごみ処理の状況

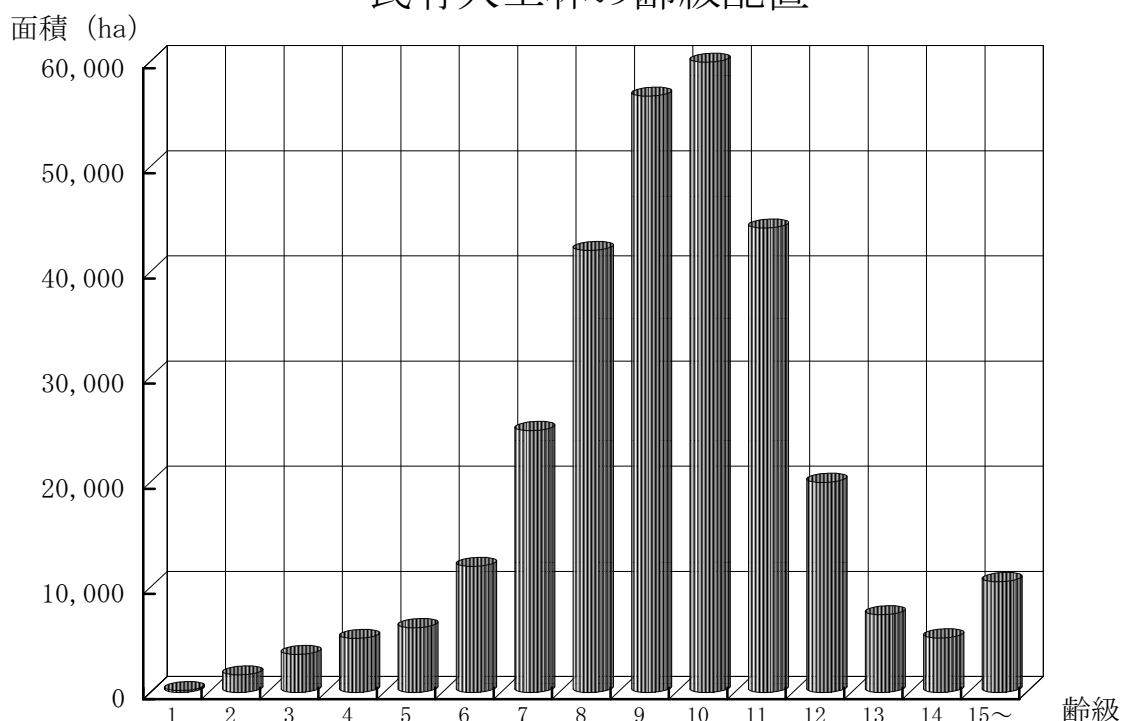
## (1) 森林資源

本県は、県土の84%を林野が占める全国屈指の森林県である。

森林の蓄積量をみると国有林、民有林合計で1億6915万m<sup>3</sup>で、うち民有林が86%を占めている。民有林の人工林1haあたりの蓄積量は414m<sup>3</sup>となり、森林資源は増加し、充実してきており、これまで育ててきた資源の活用が課題となっている。

また、民有林の人工林のうち、間伐等の手入れが必要な45年生以下の森林は51%と割合が高く、水資源のかん養などの多面的な機能を持続的に発揮させるため、今後も適切な森林整備を継続していく必要がある。

民有人工林の齢級配置



森林資源現況（平成20年度）

区分	総数	民 有 林			国 有 林		
		計	人工林	天然林等	計	人工林	天然林等
面積(ha)	597,949	471,690	299,480	172,209	126,260	91,219	35,041
	100%	79%	(63)	(37)	21%	(72)	(28)
蓄積(千m <sup>3</sup> )	169,153	144,873	124,054	20,819	24,279	19,904	4,375
	100%	86%	(86)	(14)	14%	(82)	(18)

[資料] 民有林：高知県森づくり推進課資料

国有林：四国森林管理局資料

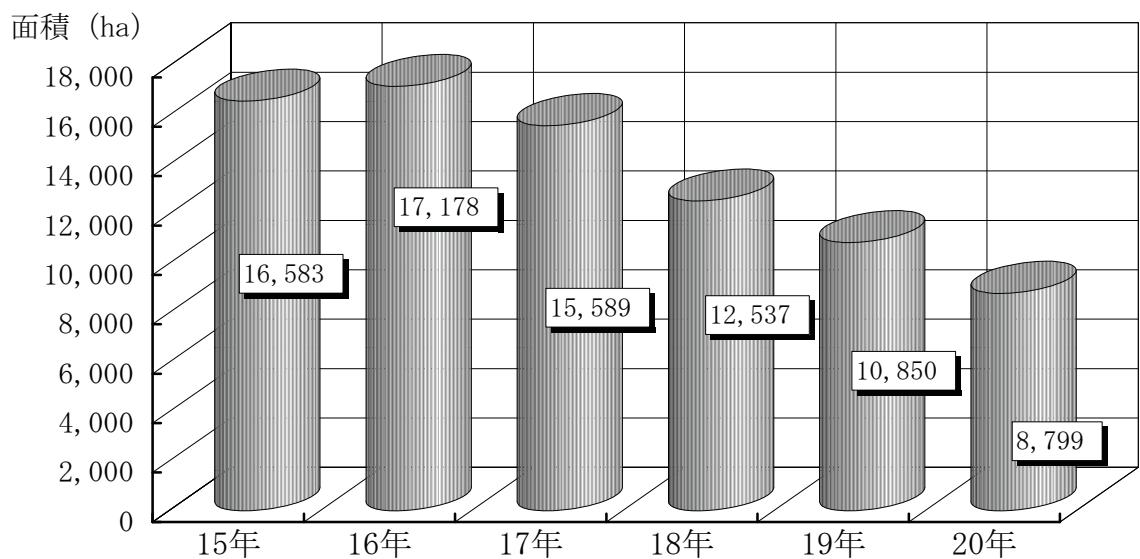
注) 内訳と計は端数処理のため、不整合の場合がある。

## (2) 森林施業

植栽から保育までの森林施業が実施され、健全な森林の造成が行われるとともに、強度間伐による針広混交林への誘導や長伐期林の造成など、多様な森林の整備が行われている。

森林の持つ様々な機能を発揮するために重要な除間伐の平成20年度の実行量は、8,799haとなっている。

除・間伐面積の推移



森林施業の実施状況

(単位 : h a )

区分	15年	16年	17年	18年	19年	20年
単層林	再造林	185	239	140	198	214
	拡大造林	183	165	142	137	145
	小計	368	404	282	335	359
	下刈り	3,402	2,847	2,335	1,914	1,878
	除間伐	16,583	17,178	15,589	12,537	10,850
複層林	27	14	17	19	28	21
育成天然林	0	0	0	21	13	37

[資料] 高知県林業改革課

### (3) 林業生産基盤

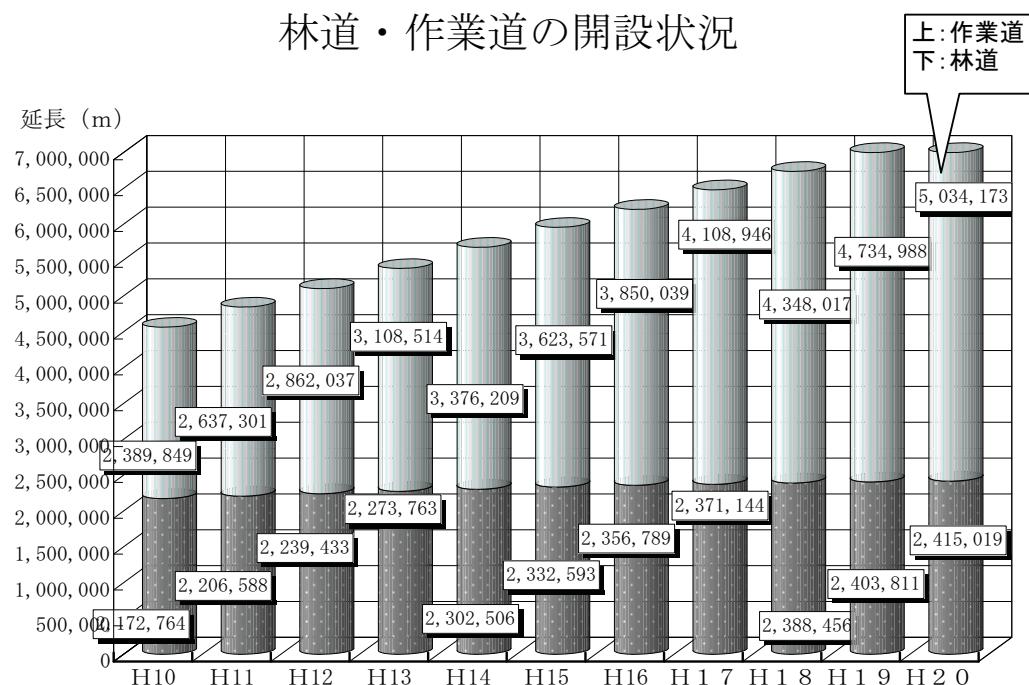
民有林林道の開設延長は2千kmを超え、この中から市町村道や県道、あるいは国道へと転用されたものも多く、県全体の道路整備に大きく貢献している。

林道の年間開設量は、ピーク時の昭和46年、47年度には100kmを超えていたが、近年は財政状況などの影響により18km程度にとどまっている。

一方林業生産の現場では、合理的な作業システムの導入が進むなど、路網整備の必要性がますます高まっていることから、林道を補完する作業道の開設にも積極的な取り組みを進めている。

作業道の開設累計は、平成20年度末には5,034kmとなっている。

林道・作業道の開設状況



路網状況の推移

年度	累計延長 (km)				密度 (m/h a)		
	公道	林道	作業道	合計	林道密度	林内道路密度	林内路網密度
10	4,637	2,173	2,390	9,200	4.6	14.5	19.6
11	4,637	2,207	2,637	9,481	4.7	14.6	20.2
12	4,637	2,239	2,862	9,738	4.8	14.7	20.8
13	4,637	2,274	3,109	10,020	4.9	14.8	21.4
14	4,637	2,303	3,376	10,316	4.9	14.8	22.0
15	4,637	2,333	3,624	10,594	5.0	14.9	22.6
16	4,637	2,357	3,850	10,844	5.0	14.9	23.2
17	4,637	2,371	4,109	11,117	5.1	15.0	23.7
18	4,637	2,388	4,348	11,373	5.1	15.0	24.3
19	4,637	2,404	4,735	11,776	5.1	15.0	25.1
20	4,637	2,415	5,034	12,086	5.2	15.1	25.8

[資料] 高知県治山林道課

注) 端数処理のため、延長の合計は不整合。

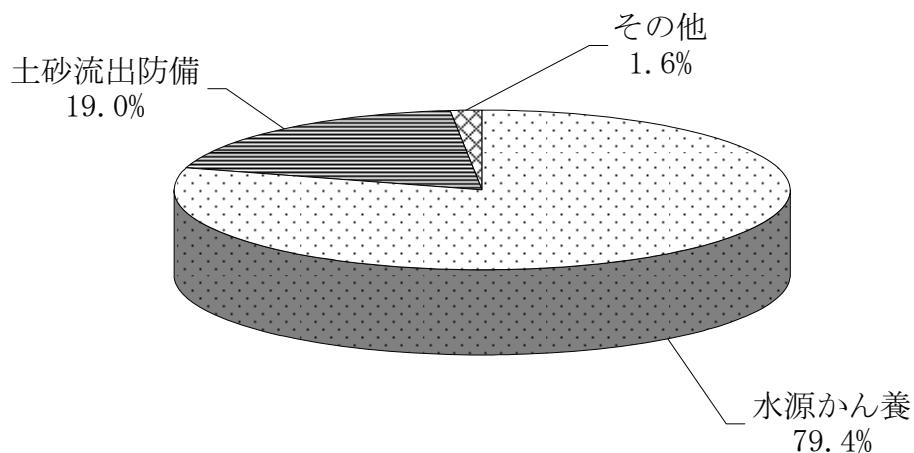
公道延長は、昭和62年度末の数値に固定とする。

#### (4) 保安林

県下の保安林面積は、平成19年度末現在で国有林、民有林合わせて226,636haとなっている。

全森林に対する割合は、約37.9%となっており、保安林種別にみると水源かん養保安林、土砂流出防備保安林の2種類で全体の約98%を占めている。

### 保安林面積



保安林種	(平成21年3月31日現在) 単位: ha, %				
	国有林	民有林	計	比率	備考
水源かん養保安林	109,081	70,919	180,000	79.42	
土砂流出防備	5,784	37,229	43,013	18.98	
土砂崩壊防備	247	38	285	0.13	
飛砂防備	〃	6	6	0.00	
防風	34	57	91	0.04	
水害防備	〃	1	1	0.00	
潮害防備	97	118	215	0.10	
干害防備	741	308	1,049	0.46	
魚つき	369	560	929	0.41	
航行目標	〃	16	16	0.01	
保健	466	398	864	0.38	
風致	〃	167	167	0.07	
計	116,819	109,817	226,636	100.00	

[資料] 高知県治山林道課

## (5) 森林組合

県下には、平成20年度末現在、27の森林組合があり、森林の整備や林産物の生産に取り組んでいる。

各組合とも出資金額の増額に取り組み、組合経営の健全化に努めているが、組合員の加入率の伸び悩みや作業班員の減少、高齢化等から厳しい状況にある。今後は広域合併等により、事業量を拡大するとともに、多角化し、経営基盤を強化する必要がある。

高知県森林組合連合会は、高知市に本部を置くとともに、県下に7つの木材共販所を開設して木材流通の円滑化に務める一方、広域合併に向けた指導等を通じて、単位組合の活動を支援している。

### 高知県森林組合連合会の概要

(単位：千円、m<sup>3</sup>)

区分	15年	16年	17年	18年	19年	20年
会員数	33	31	28	27	27	27
払込済出資金額	649,428	663,426	666,460	673,458	687,219	690,058
取扱共販所別 素材取扱量	奈半利	35,370	36,077	31,688	21,561	26,980
	物部 (H16開設)	—	15,492	27,060	21,187	27,247
	嶺北	53,183	54,498	49,026	57,818	41,928
	高知	31,990	25,641	20,755	13,903	6,999
	高幡	41,394	49,292	37,802	37,313	35,959
	大正 (H17開設)	—	—	5,883	5,978	7,538
	幡多	26,036	28,693	38,032	39,836	36,849
	計	187,973	209,693	210,246	197,596	183,500
						204,959

### 森林組合の概要

(単位：千円、人)

区分	15年	16年	17年	18年	19年	20年
組合数	32	30	28	27	27	27
払込済出資金額	1,856,005	1,879,508	1,832,046	1,907,858	1,900,900	1,898,176
組合員数	39,293	39,074	38,880	39,086	38,726	38,262
作業班員数	1,149	954	889	1,276	1,158	1,087

[資料] 高知県森林組合一斉調査とりまとめ

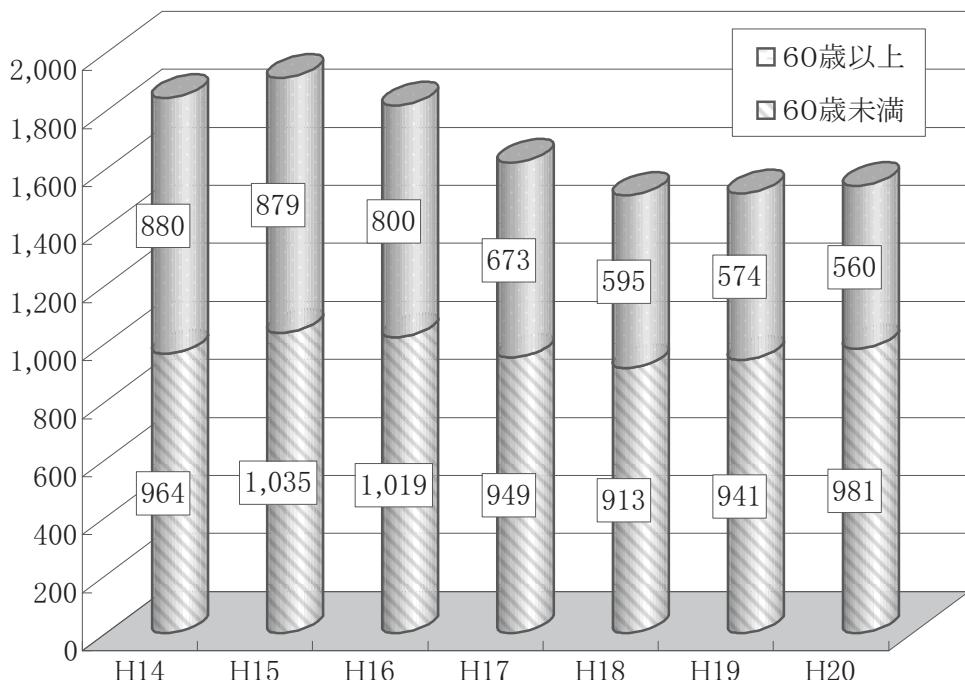
## (6) 林業労働力

林業就業者の調査を昭和50年度に開始して以来、連続して就業者は減少し、平成20年度には、昭和50年度当時（7,463人）の約5分の1の1,541人となっている。

こうした状況の中、平成20年度の新規就業者は207人で、平均年齢は、平成15年度から年々若返り傾向にあり、ここ6年間で5.3歳若返り、51.8歳となっている。

また、林業就業者に占める20歳代以下の構成比が、調査開始以来最高となった前年度を上回り11.8%となり、30歳代以下の構成比も平成3年度の6.9%を底に増加傾向にあり、平成20年度は24.8%となっている。

林業就業者数の推移



林業就業者数の推移

単位：人

区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
10歳代	5	13	12	6	6	11	8
20歳代	81	115	138	134	127	145	174
30歳代	132	152	161	153	165	181	200
40歳代	237	251	246	233	211	217	219
50歳代	509	504	462	423	404	387	380
60歳代以上	880	879	800	673	595	574	560
合計	1,844	1,914	1,819	1,622	1,508	1,515	1,541
平均年齢	57.1	55.8	55.0	54.5	53.7	52.6	51.8

[資料] 林産業等（労働力・機械器具）の実態調査（H15まで）

[資料] 林業労働力及び林業機械器具の実態調査（H16）

[資料] 林業労働力、林業機械器具及び素材生産量調査業務委託（H17, H18）

[資料] 林業労働力等調査業務委託（H19から）